

令和7年度「農林水産力」の強化に向けた取組

令和7年2月21日
青森県

関係者との対話の状況（令和6年度）

青森新時代「農林水産力」
強化パッケージ策定
(令和6年3月25日)

	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
対話	日頃の普及活動や「#あおばな」等の対話により1,630件の意見を集約			
	対話強化月間 (5～6月)	各部会（第1回） (7月) 農政審議会 (7月) 水産振興審議会 (7月)	森林審議会 (12月)	各部会（第2回） (1月) 「農林水産力」 強化本部（2月）
	「#あおばな」（農林水産関係12回）			
施策形成		方向性の検討	R 7 予算の検討	
		知事・副知事と部局長 の意見交換（9月）		2月議会

※R7.2.4時点の実績

■ 農業

- ・ 新規就農者サポートをお願いしたい
- ・ 所得向上プログラムの実現に向け、提案型の補助事業を創設してほしい
- ・ きめ細かく経営指導ができる普及指導員を育成すべき
- ・ ゲノム解析技術を活用した和牛改良の推進と優良雌牛の導入奨励金を創出してほしい
- ・ 高齢化や担い手不足により、耕作放棄地が増加しており、企業による労働者派遣や連携、農業参入など、企業の力で本県農業・農村を支援する取組が必要
- ・ 新規就農者等に世界の農業を学ぶ機会を創出してほしい



いちご生産者との#あおばな

■ 林業

- ・ 住宅需要についてプロジェクトで協議してほしい
- ・ 県産材の需要拡大に向けて、住宅への支援やモデルとなるような公共施設での利用を進めてほしい
- ・ 県産材利用のインセンティブとなり得る補助制度を作してほしい
- ・ 林業アカデミーの機能を強化してほしい



若手林業従事者との#あおばな

■ 漁業

- ・ 早めにホタテプロジェクトの意見交換をしてほしい
- ・ 温暖化に対応した技術開発を進めてほしい
- ・ ホタテの親貝がいなければ産卵しないので、親貝確保が第一の問題だ
- ・ いきなり協業化は難しいが、共通する作業を一緒にやるところから始めていければいい
- ・ 若い漁業者が学べる場を増やしてほしい



ホタテガイ生産者との#あおばな

青森新時代「農林水産力」強化パッケージを着実に推進するとともに、気候変動や物価高騰、スマート技術の進化など農林水産業を取り巻く環境にしっかりと対応しながら、令和7年度は以下の項目について重点的に取り組みます。

1 **所得を上げる** ための「生産者」の経営改善支援

2 **産業を守る** ための「企業」等との連携

3 **次代を支える** ための「人財」の確保・育成

1 所得を上げるための「生産者」の経営改善支援

所得向上プログラムの実践支援

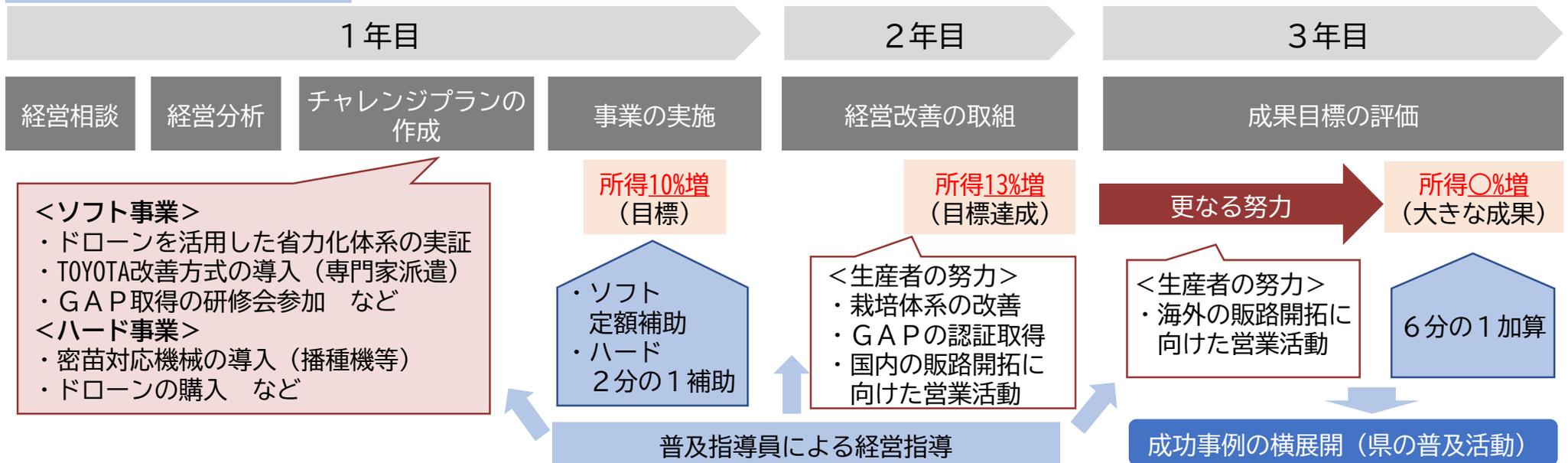
① 農業者の経営分析・経営改善等の指導体制の強化

- ・ ICTを活用した効率的な指導体制の構築
- ・ 経営指導力の高い普及指導員の早期育成 など

② 経営指導を受けた農業者自らが計画・提案する公募・成果連動型支援事業の創設

- ・ ソフト支援（必須）：定額
 - ・ ハード支援：2分の1補助
：成果が大きい場合6分の1加算（後年度）
- 総補助率は最大3分の2

取組イメージ



1 所得を上げるための「生産者」の経営改善支援

青森「米づくり新時代」の推進

①超・プレミアム米の実証

・栽培実証とSNS等による超・プレミアム米のPR

②超・低コスト米生産技術の確立

・栽培実証とSNS等による超・低コスト米栽培技術のPR

③県産米の輸出拡大

・輸出を見据えた多収品種の開発と実証

取組イメージ

超・プレミアム米



良食味米



環境に配慮しながら
食味と品質を追求

各種認証制度



認証制度の活用による
差別化

超・低コスト米



多収品種



「まっしぐら」より
収量が1割多い有望系統

省力・低コスト技術



省力・低コスト効果の高い
「水稻V溝乾田直播栽培」

1 所得を上げるための「生産者」の経営改善支援

ながいも出荷量日本一に向けた取組

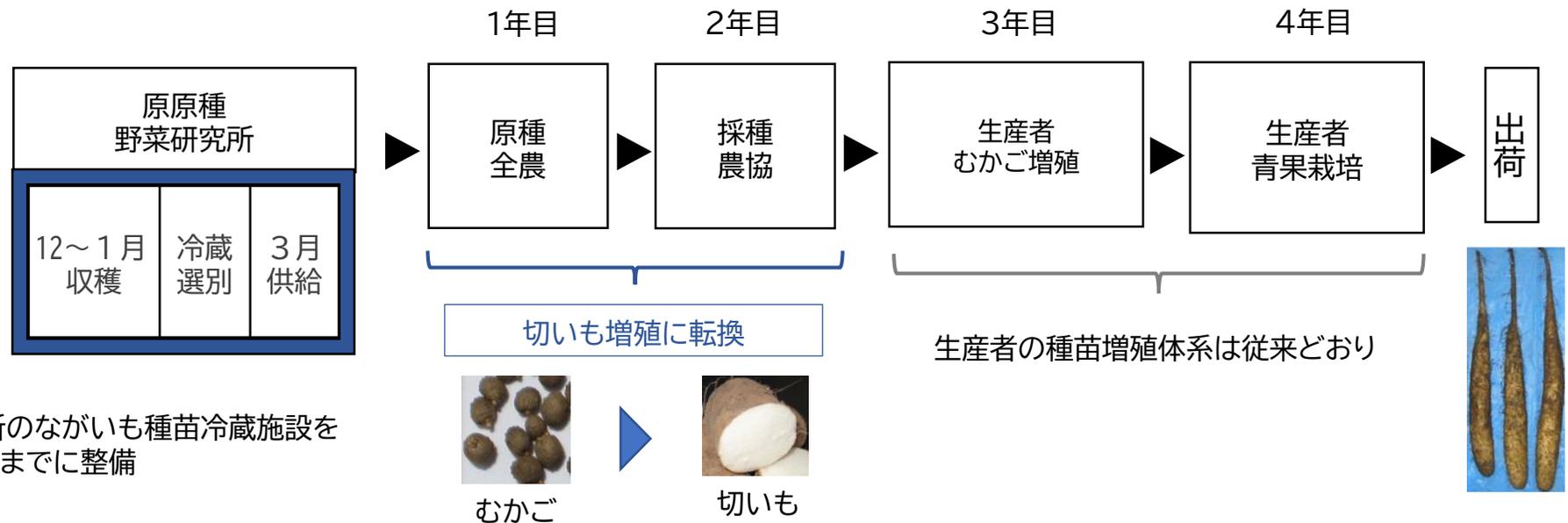
①品質を維持する優良種苗増殖体制の構築

- ・ 催芽切いものほか、成いもの小切片を利用した種苗増殖方法改善の実証
- ・ 野菜研究所からの原原種成いも供給体制の実証

②新品種「夢雪」の高品質多収栽培技術の確立

- ・ 「夢雪」の特性に合わせた高品質多収栽培技術の確立

ながいもの種苗供給体制イメージ



※野菜研究所のながいも種苗冷蔵施設を令和8年度までに整備

1 所得を上げるための「生産者」の経営改善支援

肉用牛の生産構造のダイナミックな変換

①ゲノミック評価による優秀な雌子牛の選定

- ・子牛の能力を推定するため、生産者のゲノミック解析に係る費用を県が全額負担

②高評価雌子牛の市場取引の定着、保留の推進

- ・ゲノミック評価結果のセリ名簿への掲載
- ・高評価雌子牛を購入し、繁殖雌牛として供用する場合に奨励金を交付

取組イメージ



○本取組を2年間継続することで、子牛の販売価格が上昇し、農家所得が向上。
個々の経営体が、継続的にゲノミック解析の実施や高評価雌牛を購入できる基盤が構築される。

2 産業を守るための「企業」等との連携

企業の農業参入推進

① 農業参入に向けた企業へのアプローチ

- ・ 参入意向の調査（1,500社程度）
- ・ 参入ニーズに応じたオーダーメイド型支援策（R8以降）の検討



大規模高密度植栽培企業の参入

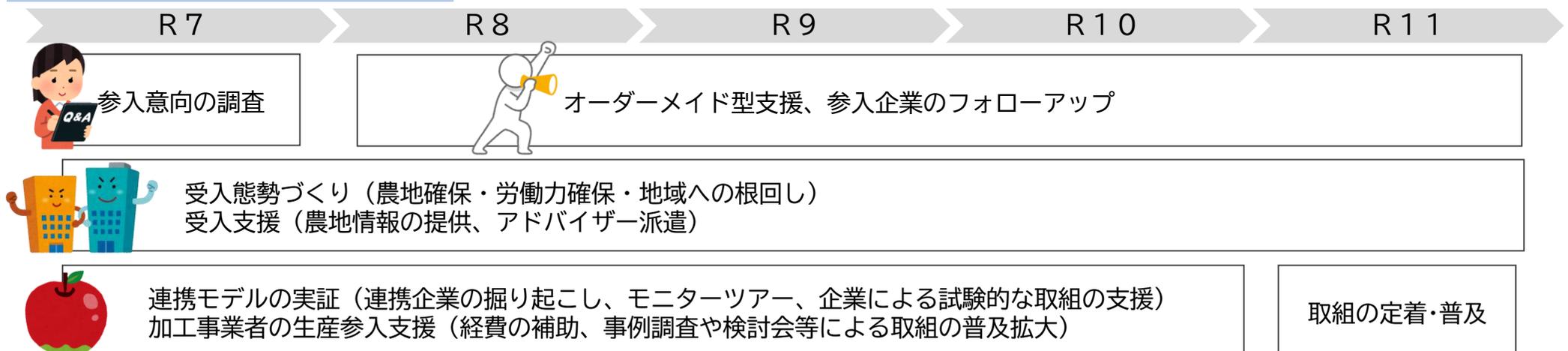
② 企業の農業参入受入態勢づくり

- ・ 参入ニーズを受入希望市町村と共有し、県と市町村が連携して対応する態勢を整備
- ・ 農地情報サイト活用による情報提供や、技術アドバイザー派遣による営農面等でのフォローアップ

③ りんご産業への参入支援

- ・ 連携モデルの実証
- ・ 加工事業者が新たにりんごの自社生産等にチャレンジする際の経費の補助

取組ロードマップ



2 産業を守るための「企業」等との連携

県産材の需要拡大

①地域製材ネットワークの構築

エーウッド

- ・「A-wood」ユーザーのニーズにワンストップで対応できる県産材供給体制の構築

②「A-wood」ユーザーの育成

- ・県産材利用に取り組む建築事業者への支援

補助金額：定額（上限50万円/棟）

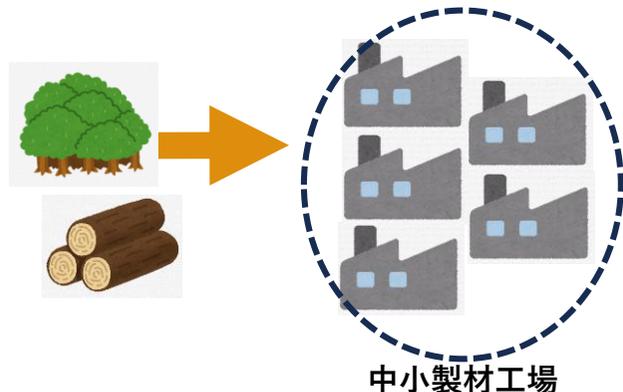
補助要件：青森県「A-wood使います宣言」事業者への登録

③公共建築物における利用促進対策

- ・県産材の調達、設計・施工に対するサポート体制の整備
- ・庁内に県産材利用推進会議を設置し「県有施設木づかい宣言」を実施

取組イメージ

地域製材ネットワークの構築



「A-wood」ユーザーの育成



公共建築物における利用促進対策



2 産業を守るための「企業」等との連携

陸奥湾ホタテガイ総合戦略の推進

①生産高度化

- ・効率的な採苗に向けた技術開発
- ・高水温に対応した養殖技術の開発

②経営力強化

- ・経営安定に向けた生産体制の見直し
- ・養殖作業の効率化に向けた協業の推進
- ・養殖経営体の承継円滑化

③販売促進

- ・既存の販路における需要拡大（米国、東南アジア等）
- ・新たな輸出先の開拓（EUへのベビーボイルホタテ輸出）

陸奥湾ホタテガイ総合戦略の展開方向



3 次代を支える ための人財の確保・育成

「あおもり農業経営塾」と提案型海外研修の実施

- ・ 一流講師陣による農業経営のプロになるための実践的な経営力向上研修
- ・ チームによる提案型海外研修の支援



青い森林業アカデミーの機能強化

- ・ 青い森林業アカデミー将来構想の作成
- ・ 関係団体を委員とした林業労働力確保対策協議会(仮称)を設立し、意見聴取
- ・ 現場技術指導体制の整備



養殖経営体の承継円滑化

- ・ 就業・定着支援プログラムの策定
- ・ ホタテガイ養殖業の魅力発信
- ・ 漁業体験等のインターンシップ



配合飼料等価格高騰の影響緩和への支援

- ・ 配合飼料価格上昇分の一部を支援
- ・ 自給飼料を給与している場合は、配合飼料のみの場合と比較して、栽培経費が発生するため、補助単価を高く設定

補助単価

配合飼料を給与 1,800円/トン

配合+自給飼料を給与 3,700円/トン



肉用牛繁殖経営安定化への支援

- ・ 黒毛和種子牛の市場への出荷頭数及び自家保留頭数に応じて、生産費と販売価格等の差額の一部を助成

補助単価

子牛1頭当たり 6万円



漁業経営への支援

- ① 漁業用燃油・養殖業用飼料価格高騰への支援
 - ・ 「漁業経営セーフティネット構築事業(国庫)」の漁業者・養殖業者負担分の一部を支援
- ② 持続可能なつくり育てる漁業へ向けた支援
 - ・ ナマコ種苗生産やサケふ化場の運営に係る経費の一部を支援

補助率

ナマコ 定額

サケふ化場 定額



農業水利施設の電力価格高騰への支援

- ・ 土地改良区等の安定的な運営を図るため、電力価格上昇分の一部を支援

補助率

電力価格上昇分の
3分の1以内



青森りんご生誕150周年について

記念イベント

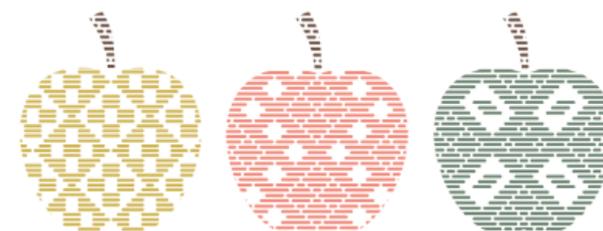
青森りんご植栽150周年記念式典（仮）

日付：令和7年9月開催予定

場所：弘前市民会館

主な取組

- ・グッズの作成
- ・県民参加型メッセージ動画の配信
- ・記念誌の発行

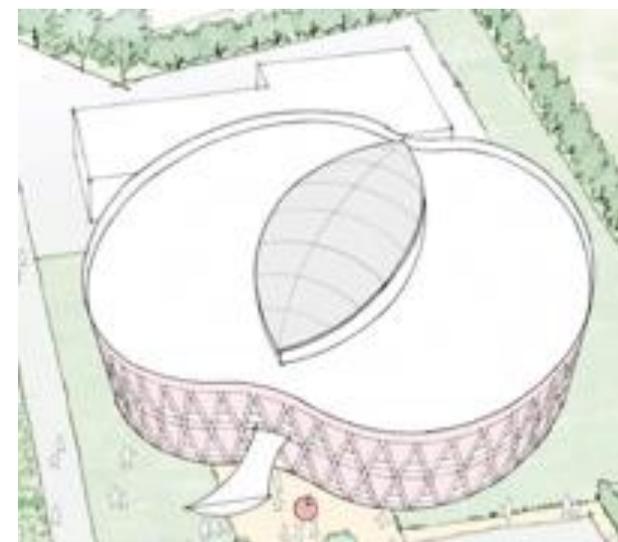


150th Anniversary
AOMORI RINGO

青森りんご植栽150周年記念ロゴマーク



青森りんご植栽150周年記念キックオフイベントの様子



りんごイノベーションセンター（仮称）